

# 名大 学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.165

2015.7

## CONTENTS

コラム / 名大祭 / 体育大会 / クラブ活動  
教育推進部の窓 / トピックス / 災害対策 / 伝言板

## COLUMN

### 名大祭今昔

理事・副総長 松下 裕秀

先日催された名大祭も56回目を迎え、還暦が近づいている。初回は1960年6月3-6日に行われたと記録にあるから、今年と全く同じ時期である。おりしもその年の5月に豊田講堂の竣工式が行われているが、写真からは学内の道路どころか市道も舗装がされていないことに改めて驚かされる。1960年のこの時期は、単に学生運動に留まらず、国中の関心を集めた学生主導の社会・政治運動となった60年安保のデモとも完全に重なる。初回の名大祭テーマたるや「日本人のエネルギーの継承と発展の方向を求めて」である。太平洋戦争後まもなく小学校に入った世代の手によるこの独自企画イベントは、このテーマ自体に恐ろしいほどのエネルギーが注ぎ込まれている。

もう一つ、初回名大祭の開催に当たっては、忘れてならない事柄がある。その前年の1959年9月26日、伊勢湾岸および尾張・三河地方は桁はずれに大きなエネルギーを持った伊勢湾台風に見舞われ、一夜にして五千人を超す尊い命が奪われた。その大災害からの復旧作業には名大の教職員・学生が大活躍し、県議会の感謝決議に至ったほどの多大な影響を大学に与えたようである。この巨大台風は名大祭が夏期に行われることの一つの要因になった。

時代は飛んで2015年、本年のテーマは「邂逅（かいこう）」であった。丁度名大が創立された1939年に初作となったアメリカ映画「邂逅（めぐりあい）」と同じ漢字題目である。本年は金曜日には雨に見舞われたものの、おかげで週末にかけて天気にも恵まれ、多くの参加者が楽しんでくれたようである。筆者も土曜日には戸外の企画を少し見て回り、若者のエネルギーを久しぶりに肌で感じた。大きな事故もなく滞りなく終わったことについては、昨年の企画開始以来、運営にあたってきた実行委員各位の努力に感謝し、敬意を表する次第である。また研究公開等に協力してくださった学内関係者にも感謝したい。しかし、パンフレットによれば建物内での学生主催の催しが少なく、戸外のイベントが圧倒的に多い。教養部の学生時代に普段授業で使われている教室を借り、手作りのクラス演劇に「出演」して、下手ながらも「芝居」に懸命に取り組んだ筆者には、正直なところ一抹の寂しさを禁じ得ない。

# 名大祭

## 第56回名大祭「邂逅」が開催される

第56回名大祭が、6月4日(木)午後から6月7日(日)までの3.5日間、「邂逅」をテーマに東山キャンパスで開催されました。このテーマには、普段はキャンパス内で自分たちという枠にとらわれがちであるが、名大祭という場が今まで普通に生活していたら出会わないような、自分たちの知らなかった人やモノに出会うきっかけになって欲しい、また、逆にそういった感銘を与えるような発信をする場にしてほしいという思いが込められています。

本祭に先立ち、5月10日(日)には名大祭企画として「仮装行列」が、白川公園と栄周辺で行われ、参加した多くの1年生がクラスごとに仮装し、栄の街をねり歩きました。

名大祭期間中、4日(木)は授業が終わった名大生がステージ付近で足を止める姿が多く見られ、名大祭の訪れを肌で感じていました。夜に行われた「当夜祭」のダンスコンテストでは各チームから迫力の演技が披露され、初日の夜を盛り上げてくれました。

5日(金)は生憎の雨となりましたが、屋内企画でも多くの盛り上がりを見せました。特に近隣町内会の方々との協力のもと、今年で10回目を迎える「盆踊り」は、本学の学生だけでなく、お子さん連れのご家族や、友達と遊びに来た小学生なども多く見受けられ、学生と地域の方々との交流が盛んに行われる場となりました。また、本学留学生も見受けられ、盆踊りなどの日本の文化に触れる機会にもなりました。

6日(土)、7日(日)は天候に恵まれ、北側メインストリートで実施された「模擬店」では、保健所の助言を得た厳しい衛生管理体制のもと、39団体の飲食物の屋台が名大祭を盛り上げました。

学術講演会企画『私のカレーなる人生～あなたの日常にスパイスを～』では、愛知県出身の宗次徳二氏に天涯孤独の生い立ちからその生きざまについて講演いただき、学生だけでなく参加された多くの来場者にとって、これからの人生を豊かにするような講演となりました。また、学術的な企画として学内各所で研究室の公開が行われた他、合同展示会やラボツアーも行われ、普段見ることのできな本学の最先端の研究を見学し、時には実際に手で触れることで、来場者は大学の研究を身近に感じることができました。

その他にも様々な企画が学内各所で行われ、全学教育棟では50を超える団体が思い思いの企画を行い、名大祭を賑わせました。また、メインステージで行われたよさこいやダンスなどのパフォーマンスは多くの来場者を魅了し、発表者自身も来場者と共に楽しむ姿が見受けられました。

名大祭期間中を通して行われたテーマ企画「この邂逅を忘れない」は、今年のテーマ「邂逅」にちなみ、名大祭内で起きた沢山の人やモノとの出会いを形に残したいという思いから、それらを1枚1枚写真に収め、1つの大きなモザイクアートとして発表し、大変な賑わいを見せました。

最終日となる7日(日)の夜には、第56回を締めくくる「後夜祭」が行われ、冒頭では迫力の和太鼓の演奏で来場者を引き込み、最後には恒例の火舞が行われ、名大祭の最後を彩りました。

青色LEDの灯る豊田講堂が見守る東山キャンパスの地で、今年も様々な人やモノが行き交い、沢山の「邂逅」が訪れた熱い名大祭となりました。



## 「第56回名大祭を終えて」



6月4日(木)午後～7日(日)にわたり、名古屋大学東山キャンパス全域で第56回名大祭が行われました。6日(金)は生憎の雨となりましたが、屋内での企画も盛り上がりを見せ、天候に恵まれた残りの2.5日間を含め、近年に例を見ないほど多くの方に足を運んで頂くことが出来た3.5日間となりました。

しばしば「学生自治の祭典」と称される名大祭ではありますが、その開催理念と現代の世相とのギャップに私自身疑問を感じていました。名大祭を行う意義とは何かと。しかし約1年間、委員長として名大祭を様々な角度から見ることで、その問いに対する私なりの答えは少しずつ輪郭を得ていき、今年のテーマとなった「邂逅」に通じるものをそこに見てとることができました。

名大祭において、名大生は、様々なものを目にすることが出来ます。普段、自らの枠からは出てこないような多くの人やモノに出会うこと、逆に自らが多くの人やモノに変化を与えるきっかけとなることも出来ます。時代は変われど、何かを変えたい変わりたいという思いは存在し、そして、その思いが出会い昇華する場となるのが名大祭の意義なのではないかと考えています。

プレ企画及びこの3.5日間のために、実行委員会のメンバーをはじめ、参加団体の方々、地域の方々、教職員の方々など本当に多くの方の協力があったことを、改めて感謝いたします。このうちの何一つ欠けても名大祭は成功を果たせず、次代に引き継がれていくこともまたありません。本当にありがとうございました。

そしてこの度、56回分の記憶と思いの詰まった名大祭をいよいよ次代に渡す側となりました。受け取った時の、自分たちにうまくやっつけていけるだろうかという不安とは違い、現在は、56回を良き伝統として積み重ねることが出来たのだろうかという内省の念と、後輩達がより素晴らしいものにしてくれるだろうという期待を抱いています。

1回1回を重ねる毎にその深みを増していく名大祭が、これからも更なる飛躍を続けることを信じ、また多くの方に末永くこの名大祭を温かく見守って頂けたら、短い間といえども長い歴史に関われたものの1人としてとてもうれしく思います。どうかこれからも、名大祭をよろしくお願い致します。

第56回名大祭本部実行委員会 委員長 大里智樹



# 体育大会

## 第69回名古屋大学・大阪大学対抗競技大会

主に5、6月の土・日曜日を利用して、第69回名古屋大学・大阪大学対抗競技大会が名古屋大学を当番校として開催されています。主に名古屋大学の運動施設を会場とし、毎週のように両校の学生による熱い戦いが繰り広げられています。

本大会は今年で69回を数え、年々参加競技数も増えており、本大会を通して両校の学生が互いに競技のレベルを高め合うとともに、交流を深めています。



### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 競技結果一覧表 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

競技種目	対戦結果		競技種目	対戦結果	
	名大	阪大		名大	阪大
アーチェリー	×	○	アーチェリー	×	○
アイスホッケー	○	×	弓道	×	○
アメリカンフットボール	○	×	剣道	○	×
空手道	○	×	硬式テニス	○	×
弓道	○	×	漕艇	○	×
剣道	×	○	ソフトテニス	○	×
航空	○	×	体操		
硬式テニス	○	×	卓球	7/11,12	
硬式野球	○	×	バスケットボール	×	○
ゴルフ	開催日未定		バドミントン	7/11,12	
サッカー	7/18,19		バレーボール	○	×
自動車競技	○	×	フィギュアスケート	○	×
柔道	×	○	ラクロス	×	○
準硬式野球	○	×	陸上競技	×	○
少林寺拳法	×	○	女子成績	6	5
水泳	開催日未定		総合成績	20	17
スキー	○	×			
漕艇	×	○			
ソフトテニス	○	×			
ソフトボール	七大会と同時開催				
体操	○	×			
卓球	7/11,12				
バスケットボール	○	×			
バドミントン	7/11,12				
バレーボール	×	○			
ハンドボール	×	○			
フィギュアスケート	×	○			
ライフル射撃	×	○			
ラグビー	×	○			
ラクロス	×	○			
陸上競技	×	○			
相撲	○	×			
男子成績	14	12			

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 大会通算成績 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

	名大	阪大	引き分け
総合通算成績	18	28	3
男子	21	43	4
女子	21	35	7

※総合通算成績は、総合成績の制度が導入された第20回から今回までの成績



## クラブ活動

### Shana Club

Shana club は名古屋大学の軽音楽サークルです。名大だけでなく他大学の学生も多数所属しています。主な活動として、毎週土曜日の4時半から学生会館の談話室で例会を行い、連絡事項を伝えたり、会話を楽しんだりしています。また、ほぼ一か月に一回のペースでライブをしており、各自のペースに合わせてライブを楽しむことができます。音楽のジャンルも多岐にわたっています。興味を持たれた方はまずはお気軽に土曜日の例会やライブを見にいらして下さい。



### 空手道部

「空手」を知っているでしょうか、最近では東京オリンピック開催に際して新たに追加されるかもしれない競技の1つとして注目のスポーツです。私たちは礼節を重んじ、鍛錬し自分を高め、その成果を試す意味で“形競技”、“組手競技”の2種で競っています。空手にはいくつもの流派がありますが、名古屋大学空手道部は和道流という流派に学び週に4回稽古しています。多くのOBの先輩方に支援・指導を頂き、その長い歴史に倣いながら目標とする結果を残せるよう努力しています。現在は部員約20名で活動しており、名阪戦、東国体、七大会すべてで優勝、全日本への出場を目標としています。道を極めることで人として成長し満足できる成果を出せるよう部員一同今後も稽古に励んでいきます。応援よろしくお願いします。



# 教育推進部の窓

## 海外留学について

海外留学を実現するための最初の一步として、毎週火曜日に「海外留学入門セミナー」を開催しています。留学担当教員が留学プログラムの概要や選考の流れ、必要な語学レベルと成績、単位、奨学金、留学計画のヒントなどについてご説明をしますので、お気軽にご参加ください。尚、名古屋大学では、留学情報の提供&相談窓口として、国際棟（旧留学生センター）1階に「海外留学室」を設置していますのでご利用ください。

### 海外留学のサポート体制

#### 海外留学室のサポート

海外留学入門セミナー・・・毎週火曜日のお昼休み 12:15～12:45、国際棟（旧留学生センター）1F 海外留学室、予約不要

- 海外留学情報の提供（ホームページ、facebook、メーリングリスト、図書貸出）
- 説明会、セミナーなどの開催（交換留学、短期研修プログラムなど）
- 個別相談（予約制/専任教員が担当）
- 留学出願手続きのサポート

#### 名大の主な留学プログラム

協定校への「交換留学」は応募から渡航まで半年以上かかるため、長期計画で臨む必要があります。一方「短期研修プログラム」は準備期間が短く、語学条件なども緩やかなため、交換留学前のお試し留学として利用する学生が多くいます。欧米以外の大学であっても、英語で講義を受けることのできる大学もありますので、相談に来てください。

- 名古屋大学協定校への交換留学（原則1年間、1学期間も可能）  
世界52カ国約180校以上
- 名古屋大学協定校（全学）への短期研修プログラム（2週間～1ヵ月程度）※下記は一例です。  
英語研修（モナシユ大/豪州、ノースカロライナ大/米国、フライブルク大/ドイツ、エジンバラ大/イギリス）、  
英語講義の受講（ガジャマダ大学/インドネシア、慶熙大/韓国、香港大/中国、ジュネーブ大/スイス）  
中国語研修（同済大/中国、国立台湾大/台湾、国立中正大/台湾、復旦大/中国）  
韓国語研修（梨花女子大、慶熙大、漢陽大、延世大、）  
独語研修（フライブルク大）、仏語研修（ストラスブール大）、その他研修（ウズベキスタン、タイ）

## 海外渡航について

### 海外へ渡航する際の届出について

海外へ渡航する学生は、オンライン上でデータベースへの入力をする必要がありますので、渡航前に下記のデータベースにアクセスしてください。

#### 1. データベース入力目的

海外で災害・テロ、感染症発生等の緊急事態が発生した際に、名古屋大学から該当地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行うためのものです。

#### 2. データベースへの入力方法

以下のURLにアクセスし、名古屋大学IDとパスワードを入力してログインし、案内に従って入力してください。

<https://intl.iee.nagoya-u.ac.jp/tokou/>

※下記からもアクセスできます。

- ①名古屋大学HPトップ画面→国際交流→留学生センター→海外留学情報→渡航準備→海外渡航時の届出のお願い
- ②名古屋大学HPトップ画面→学内専用→学生向け→名古屋大学ポータルにログイン→学務または国際活動→海外へ渡航する際の届出について

#### 3. データベースに入力するメリット

データベースに入力することにより、「留学願」、「海外渡航届」、「海外渡航（留学）中の連絡先（緊急連絡用）」の届出様式をデータベース上からダウンロードすることが可能となり、届出様式に記入する手間が省略できます。

またオンライン入力なので、渡航先を含む学外からもアクセスが可能です。

海外渡航データベースについての照会先 / ■届出書類に関すること：  
▶所属学部・大学院の教務担当部署 ■データベースへの入力に関すること：  
▶教育推進部 学生交流課  
E-mail: [tokoudb@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:tokoudb@adm.nagoya-u.ac.jp)

# 教育推進部の窓

## 学生相談総合センター案内

名古屋大学では、学生相談・メンタルヘルス相談・就職相談の体制を充実させ、豊かな学生生活の実現をはかるために、学生相談総合センターが設置されています。障害のある学生の修学支援のため、障害学生支援室も設置されています。

毎日の生活の中から生じてきた悩みや課題は、自分自身について考える良い契機ともなります。

日常場面では悩みや課題にゆっくり取り組むゆとりをなかなか持ちにくいものです。そんな時このセンターを利用してはいかがでしょうか。

学生相談総合センターは、皆さんの学部や研究科とは独立した組織です。あなたのプライバシーは守りますので、気軽に利用してください。



相談申込・問い合わせ

3つの方法があります

直接受付に来て申し込む

電話で申し込む

メールで申し込む

### 学生相談部門

052-789-5805

工学部7号館B棟2F  
学生相談総合センター受付

### メンタルヘルス部門

052-788-6276

保健管理室1階  
受付

### 就職相談部門

052-789-2176

工学部7号館B棟2F  
学生総合支援課  
就職支援室

### 障害学生支援室

052-789-4756

工学部7号館B棟2F  
障害学生支援室

学生相談総合センターの受付時間

月～金 10:00～17:00

URL: <http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/>

E-mail: [soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp)

[sg-sien@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:sg-sien@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp) (障害学生支援室)

学生相談総合センターでは専任相談員のほかに、各分野に精通した兼任相談員も皆さんをサポートしています。

詳しくは、「学生便覧」、「学生相談総合センターだより」、「学生相談総合センターホームページ」をご参照ください。



## Peer Support

「ピア」とは仲間という意味です。

名古屋大学学生相談総合センターには3つのピアがあります。学生ボランティアの仲間が全力でサポートします。

相談したいあなたも、サポーターとして活動したいあなたも、お気軽にご連絡ください。(E-mail: [soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp))

### 学生生活について

困ったことがあったら、相談に来てください。

場所: 中央図書館2F

ピアサポブース

時間: 水曜日12～16時  
(長期休暇期間  
除く)



### 就職活動について

進路の決まった頼りになる先輩たちが、あなたの就活応援します。

場所: 工学部7号館B棟2F

就職支援室

就職の決まったみなさん、サポーター活動してませんか



### 障害学生支援について

障害学生支援の活動をしています。興味がある人、ちょっと気になる人は、連絡を!!

場所: 工学部7号館B棟2F  
障害学生支援室



SGSサポーター  
あいる

## 学生会館の利用状況

教育推進部学生交流課

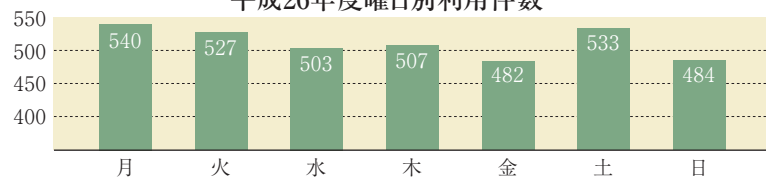
学生会館は、本学東山地区の北端（北部厚生会館の北隣）にあり、学生の課外活動、自治活動等に利用できる施設です。館内には集会室、和室、談話室及び理容室があります。集会室は9室(50名用2室、30名用2室、25名用2室、20名用2室、15名用1室)、和室は2室あり、これらは主としてサークル団体が課外活動に利用しています。談話室は学生が授業外の時間等に利用できるコーナーで、休憩をとったり、囲碁や将棋を楽しむことができます。



平成26年度月別利用状況

年	月	開館日数	利用件数	利用者数			
				学生	教職員	計	
26	4	30	304	10,757	0	10,757	
	5	31	324	10,583	0	10,583	
	6	30	267	9,105	0	9,105	
	7	31	316	8,873	0	8,873	
	8	31	325	9,448	0	9,448	
	9	30	309	9,908	0	9,908	
	10	31	299	10,111	0	10,111	
	11	30	307	10,907	0	10,907	
	12	28	269	8,735	0	8,735	
	27	1	28	240	8,803	0	8,803
		2	28	295	8,750	0	8,750
		3	31	321	10,190	0	10,190
計		359	3,576	116,170	0	116,170	

平成26年度曜日別利用件数



## 中津川研修センターの利用状況

教育推進部学生交流課

この施設は、東海地区国立大学の共同利用施設として、学外における演習・実習・課外教育等を通じて、学生・教職員間の、さらには大学間の交流を図り、学生の人間形成に資することを目的として設置されています。

研修センターのある岐阜県中津川市の苗木地区は、旧苗木藩の城下町として知られる風光明媚な地域です。近くには中津川市鉱物博物館、恵那峡県立公園等が、少し足をのばせば、旧中山道沿いに鳥崎藤村記念館、馬籠・妻籠等の旧宿場があります。

同センターは5人以上の団体が4泊5日以内の研修計画を立てれば、誰でも気軽に利用できます。

宿泊室には和室と洋室があり、一部洋室には大型ベッドを配置しています。また液晶プロジェクタや無線LANによるインターネット接続を利用することができます。

利用についての詳細は、教育推進部学生交流課(052-789-2165)にお問い合わせください。



平成26年度大学別利用団体数

大学名等	団体数	%
名古屋大学	28	74
名古屋工業大学	0	0
愛知教育大学	0	0
豊橋技術科学大学	1	3
岐阜大学	2	5
三重大学	1	3
静岡大学	0	0
浜松医科大学	0	0
東海地区外国立大学	0	0
公・私立大学	0	0
その他(高専地域団体等)	6	16
計	38	100

平成26年度利用状況

区分	利用者数(人)	%
学生	1,417 (587)	35
教職員	396 (122)	10
その他	2,205 (953)	55
計	4,018 (1,662)	100

注:延べ利用者数を示す。  
( )内は女子の内数。

### 施設の概要

- ◆ 研修棟 (面積:1,348m<sup>2</sup>)
  - ・大研修室 (100人収容)
  - ・中研修室 (50人収容、2室分割可)
  - ・宿泊室 (和室7室) (5人×2室、4人×5室)  
洋室5室 (3人×3室、8人×2室)
- ◆ 体育館 (面積:1,348m<sup>2</sup>)

# 教育推進部の窓

## 就職支援室及び就職相談室の利用案内

教育推進部学生支援課

### 就職支援室（工学部7号館B棟2F学生支援課）

就職支援室では、就職活動に役立つ情報を提供し、年間を通じて進路探索活動を支援しています。積極的に活用してください。

### <就職支援室で利用できる就職支援ツール>

#### OB・OG名簿閲覧

名大卒業生が在籍している企業のうち、名簿の提供があった企業について、OB・OGの情報が閲覧できます。興味のある企業にOB・OGがいれば、アポイントをとって訪問することも可能です。（閲覧には学生証が必要です。）

#### 求人情報・会社概要等閲覧

企業等から名大生のために寄せられた求人票、会社案内や会社説明会情報など、インターネットには出ていない就職情報を見つけることができます。民間企業はもちろん、公務員や教職員の求人情報、願書も閲覧及び配付を行っています。

#### 職業適性診断システム「キャリア・インサイト」

パソコンによる適職診断検査「キャリア・インサイト」を受検することが可能です。結果を有効に活用するために、受検後は就職相談を利用しましょう。また、パソコンはインターネットに接続されているので、企業情報の収集などにも使えます。

#### 就職関連書籍及びDVD閲覧・貸出

広く社会情勢を理解するために役に立つビジネス雑誌や日経新聞等の閲覧ができます。また、就職活動に役立つ書籍の閲覧・貸出を行っています。さらに、参加できなかった全学対象ガイダンスの記録等のDVDを視聴できます。

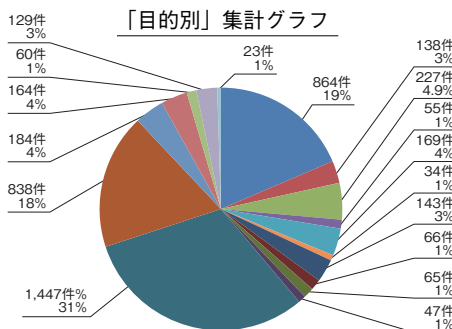
## 就職支援室メールマガジンに登録しよう！

就職支援室では、就職支援メールマガジン配信により、キャリアサポートガイダンスや合同企業説明会、インターンシップ情報など、就職活動やインターンシップに役立つ情報をリアルタイムで学生の皆さんにお届けしています。まだ登録を行っていない方は、下記 URL または QR コードからメールマガジンに是非、登録しましょう（携帯電話の機種によっては、うまく表示されないことがあります）。名古屋大学ポータルサイト「就職支援室」タブ内メールマガジン登録画面より是非、登録しましょう。 <https://portal.nagoya-u.ac.jp/>



### ◆ 就職支援室利用状況／就職支援室来室アンケート ◆

学部・研究科	人数			計
	人数	(男性)	(女性)	
文	290	75	215	357
文学研究科	67	38	29	
教	117	34	83	164
教育学部	47	14	33	
法	228	117	111	255
法学部	27	27	0	
経	393	256	137	410
経済学部	17	14	3	
国開	34	4	30	34
国開	39	1	38	39
国開	94	48	46	94
理	167	68	99	430
理学部	263	191	72	
多元	76	63	13	76
工	473	432	41	1,109
工学部	636	589	47	
農	146	61	85	365
農学部	219	148	71	
医	0	0	0	88
医学部	35	8	27	
医学系研究科	53	32	21	
環	205	162	43	205
情報	131	128	3	131
情報	42	33	9	42
創薬	5	5	0	5
不明	5	5	0	5
合計	3,804	2,548	1,256	3,804



集計月	人数			累計
	人数	男性	女性	
4月	299	197	102	299
5月	409	231	178	708
6月	400	267	133	1,108
7月	387	257	130	1,495
8月	218	164	54	1,713
9月	185	129	56	1,898
10月	228	162	66	2,126
11月	179	125	54	2,305
12月	221	152	69	2,526
1月	246	166	80	2,772
2月	467	305	162	3,239
3月	565	393	172	3,804
合計	3,804	2,548	1,256	3,804

回答	件数	割合
就職に関する相談	864	18.6%
OB・OG名簿の閲覧	138	3.0%
先輩の就活レポートの閲覧	227	4.9%
新聞・雑誌等の閲覧	55	1.2%
求人票・企業パンフレットの閲覧	169	3.6%
公務員試験情報の閲覧	34	0.7%
説明会・イベントの申込	143	3.1%
説明会・イベントチラシの閲覧	66	1.4%
適性検査の受検	65	1.4%
PC・インターネットの利用	47	1.0%
就職相談員への予約・実施・取消	1,447	31.1%
就職図書・DVDの貸出・返却	838	18.0%
インターンシップに関する相談	184	4.0%
インターンシップに関する情報収集	164	3.5%
就サボ相談（就活中の学生）	60	1.3%
就サボ相談（就活サポーター）	129	2.8%
その他	23	0.5%
合計	4,653	100.0%

<平成26年4月～平成27年3月>



## 就職相談室（工学部7号館B棟2F学生相談総合センター）

### ◆ 就職相談室について

工学部7号館就職支援室に隣接する就職相談室には、学生相談総合センター就職相談部門の専任相談員（キャリアカウンセラー）が2名常駐し、学生の皆さんの進路や就職に関する相談に応じています。

### ◆ 相談対応

就職活動期だけではなく、年間を通じて相談対応しています。就職活動への意識が高まりだす冬休みや、教員や公務員試験が本格化する夏休みにも就職支援室同様に多くの就職活動生が利用しています。

相談は一人30～50分、個別相談体制です。落ち着いた雰囲気の中じっくり時間をかけることで、自分についてや社会についての理解を深めたり、疑問や不安の元になっているものを一緒に解決できる場となっています。

### ◆ 対象学年

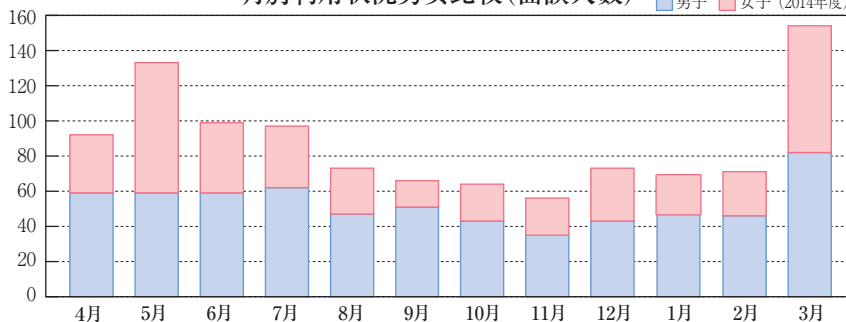
就職活動期にある3年・4年生やM1・M2生だけではなく、これからの進路について興味や関心、疑問や不安がでてきた低学年の学生やドクター・研究生などさまざまな学年の学生が利用しています。

### ◆ 相談内容

具体的な就職活動期には、自己分析や業界・企業選択について、エントリーシートや面接や筆記試験など選考についての相談が多く寄せられます。最近では、インターンシップに関する相談も増えています。就職活動が終盤になってきても、内定に関する相談や、決断をどう下すか、周囲の意見との相違や、進学か就職か、公務員か民間企業かなど、あらゆる時期にさまざまな相談が寄せられています。一見同じ相談にみえても、深く掘り下げていくと一人ひとり相談内容もその後の選択も異なります。

学生のみならずには学年・時期を問わず、自分の進路選択に真剣に取り組み、就職相談室を利用することで、疑問や不安を自信にかえていくことができるよう期待しています。

月別利用状況男女比較（面談人数）



## ◆ 就職相談利用状況 ◆

学部別来談回数 (2014年度)

	男	女	合計
文学部	24	73	97
教育学部	2	33	35
法学部	29	51	80
経済学部	52	33	85
情報文化学部	4	12	16
理学部	20	52	72
工学部	112	9	121
農学部	9	31	40
医学部		21	21
家族		2	2
合計	252	317	569

研究科等別来談件数 (2014年度)

	男	女	合計
文学研究科	24	7	31
教育発達科学研究科	1	16	17
法学研究科	11	1	12
経済学研究科	7	1	8
理学研究科	62	27	89
工学研究科	163	20	183
医学系研究科	19	29	48
生命農学研究科	32	37	69
国際開発研究科	2	11	13
国際言語学研究科	1	15	16
多元数理科学研究科	33	12	45
情報科学研究科	71	2	73
環境学研究科	82	20	102
創薬科学研究科	10	2	12
卒業生	11		11
研究生	91	16	107
聴講生	41		41
履修生	2		2
合計	663	216	879

### ◆ 開設日及び開設時間

毎週 月曜～金曜  
時間 10時～17時まで  
(夏季・冬季休暇中も開設)

### ◆ 利用方法

30分か50分を選択して下さい。予約制をとっています。  
直接予約：就職支援室カウンターにて随時予約を受け付けています。  
電話予約：052-789-2176(就職支援室)平日9時～17時  
※2週間先までの開設日・空き状況は名大 HP→教育/キャンパスライフ→就職関連情報→相談室利用案内で確認できます。  
※メールでの予約の場合は、学生相談総合センターのアドレスまでメールしてください。  
E-mail: soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp



### ◆ 相談場所

学生相談総合センター内  
就職相談室(就職支援室隣接)

### 就職支援室・就職相談室の連絡先



ホームページ  
<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/>



メールアドレス  
s-shien.evententry@adm.nagoya-u.ac.jp



電話  
052-789-2176

お気軽にお問い合わせください



# 教育推進部の窓

## 平成27年度 名古屋大学 全学対象就職ガイダンス等 今後の実施計画

○：学部4年、博士課程前期課程2年対象 △：学部3年、博士課程前期課程1年対象 ☆：全学年対象 ◇：インターンシップ参加学生対象 ◎：学部1年生、2年生対象

月	日	実施内容	詳細
8月	11日(火)	○ 教員採用試験 個人面接対策講座	教員採用試験面接官経験者から、実践的な教員採用面接を学ぶ
	12日(水)		
	17日(月)	○ 教員採用試験個人面接対策フォローアップ講座	教員採用試験個人面接受講者に対するフィードバック・振り返り等
	21日(金)	○ 外国人留学生及び海外留学生のための合同説明会事前講座	外国人留学生及び海外留学生のための合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
	24日(月)	○ 外国人留学生及び海外留学生のための合同説明会&選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
	25日(火)	○ 学内合同企業説明会直前講座	合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
	26日(水)		
9月	8日(火)	○ 学内合同企業説明会直前講座	合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
	10日(木)		
	11日(金)	○ 学内合同企業説明会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
	19日(土)	○ 博士課程学生に対する合同企業説明会&選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
10月	8日(木)	○ 学内合同企業説明会直前講座	説明会の有効活用・周り方について/各種ミニ講座も実施
	10日(土)	○ 学内合同企業説明会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
		☆ 第3回 キャリアプランニング講座	これまでの計画の実施状況を確認し、後期をどう過ごすか計画する
		☆ 第2回 キャリアサポートガイダンス	変更後の職務スケジュールの概括、今後開催される業界研究セミナー等の案内及び重要性の説明、自己分析、SPIについての把握等
		☆ 第3回 キャリアサポートガイダンス	企業で活躍するOB・OGを招き、職種研究やワークライフバランスについて理解する
11月		◇ 第3回 全学インターンシップ研修会	
		☆ 業界研究セミナー	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
		○ ミニ講座 内定者のための準備セミナー「働く人の基礎知識」	内定取得者が新社会人として知っておきたい基礎知識全般
		☆ 教職員ガイダンス	教員として求められる人材像及び採用試験制度の概要、先輩の体験発表及び懇談会等
		☆ 地方公務員ガイダンス	公務員として求められる人材像及び採用試験制度の概要
12月		☆ 業界研究セミナー	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
		☆ 公務研究セミナー	現職国家公務員が政策課題や仕事のやりがい等を語る
1月		☆ 業界研究セミナー	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
		☆ 第4回 キャリアサポートガイダンス	相談員による講演及び内定者との座談会
2月		◎ 1・2年生のためのキャリアデザインセミナー	将来に向けて今大切なこと等の講演及び演習
		☆ 第5回 キャリアサポートガイダンス	就職活動に向けて自己理解・自己分析を深める
3月		☆ 第6回 キャリアサポートガイダンス	面接のポイント解説と模擬面接
	4日(金)	△ 国家公務員総合職中央省庁セミナー	試験、採用手続きの説明及び各府省業務説明
	5日(土)	△ 国家公務員一般職・地方公務員等合同業務説明会	試験、採用手続きの説明及び各府省、地方公務員の業務説明
	6日(日)		
	7日(月)		
	19日(土)	△ 名古屋大学企業研究セミナー2016	業界を代表する企業による企業研究セミナー
	20日(日)		
22日(火)			
23日(水)			

## トピックス

### 平成26年度名古屋大学総長顕彰

本顕彰は、学問の研鑽や文化・社会活動等を通じて、「名古屋大学学術憲章」の目指す人物像「勇気ある知識人」を実践している学生を称えるために、平成15年度に創設されたものです。

平成26年度の募集は、ポスター、ホームページ及び名古屋大学駅電子掲示板等を通じて、平成26年12月15日(月)～平成27年1月30日(金)の期間に行われ、その結果、「学修への取り組み」部門に5件の学部推薦が、「正課外活動への取り組み」部門に自薦・他薦を合わせて12件の応募がありました。

これら合計17件の推薦・応募について、総長顕彰委員会による厳正な審査を経て、最終的に9名(団体代表を含む)の学生が選ばれ、卒業式終了後に行われた授与式において、表彰されました。

授与式終了後の総長と受賞学生との懇談会では、和やかな雰囲気の中、総長から、学生に対する将来への激励があった後、関係教職員と受賞学生による活発な意見交換が行われました。



#### 「学修への取り組み」部門(学部推薦)

- ◆ 藤田 舜 教育学部人間発達科学科4年
- ◆ 竹林 佳澄 経済学部経済学科4年
- ◆ Alemyayehu Dawit Hailu 理学部生命学科4年
- ◆ 劉 東昊 工学部化学・生物工学科4年
- ◆ 深谷 祥葉 農学部生物環境科学科4年

#### 「正課外活動への取り組み」部門(自薦・他薦)

- ◆ 名古屋大学 漕艇部(代表:関根 優佳 医学部 保健学科 3年) / 正課外活動(部活動)  
 (「全日本大学選手権大会(インカレ)」で優勝し、「全日本選手権」で準優勝したことにより、大学の名誉を高めたこと)
- ◆ 山田 貴之(工学部 物理工学科4年) / 正課外活動(その他)・本学への貢献活動  
 (既成概念にとらわれず新しい構造の導入と独自のアイデアを駆使して「テクルネサンス ジャパン」東レ部門の最優秀賞を獲得したこと)
- ◆ 西影 星二(医学部医学科 5年) / 正課外活動(その他)・社会への貢献活動  
 (学生として勉学に励みながら、テノールのオペラ歌手として数々のオペラ公演やコンサートに出演して音楽活動をし、芸術振興と普及に貢献したこと)
- ◆ 河合 さやか(文学部 人文学科2年) / 正課外活動(その他)  
 (「本を通して人を知り、人を通して本を知る」という理念を持ち「全国大学ピアノバトル2014」で準チャンピオンに選ばれ、本学の名誉を大いに高めたこと)



## 伝言板

## メールアドレス登録についてのお願い

教育推進部基盤運営課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用しています。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル(MyNU)よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・情報セキュリティ・インシデントに関する緊急・重要事項の連絡及び対応の要請
- ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・災害発生時の安否確認に関する連絡

## 「美術館」等大学メンバーシップ

教育推進部教育企画課

本学は、「名古屋ホスト美術館」、「徳川美術館(蓬左文庫含む)」及び「名古屋市博物館」の大学メンバーシップに加入しています。

この制度は、本学の学生(学部学生・大学院生の正規学生の他、研究生・聴講生などの非正規生を含む)であれば、入場の際に本学の学生証を入口で提示することにより、何度でも無料で入館できる制度です。(一部有

料展示会を除く)

展示内容が変更になる度に各学部等の学生向け掲示板にポスターを掲示しますので、興味のある展示会などは是非鑑賞してください。

たまには、研究活動の息抜きに、美術鑑賞でも如何ですか?

詳しい展示内容は、それぞれのHPでも見られますので、参照してください。

## ゴミ出しマナーはルールを守って

教育推進部教育企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、指定された曜日・時間・場所に出すことになっています。

名古屋市内で下宿生活を送っている学生は、地域の一員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。

分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方(種類の分け方)がわからないときは、各区の環境事業所、又は町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

## 自転車の盗難防止・走行上の注意について

教育推進部教育企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック(ツーロック)にしてください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないとされています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課せら

れることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は、坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命に関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

## 薬物に関する注意喚起

教育推進部教育企画課

昨今、大学生による大麻をはじめとする薬物事件が、新聞等でも大きく報道されています。

軽い気持ちや興味本位で禁止薬物に手を出してしまうと、自分の人生において取り返しのつかない事態に追い込まれます。罪の重さを後悔しても、

罪を消し去ることはできません。

学生のみなさんは、法令を遵守し、絶対に禁止薬物に手を出さないようにしてください。

## 宗教団体等への注意喚起

教育推進部教育企画課

学校内で強引な勧誘を行う宗教団体や、「自主的なサークル」を装って本当の活動目的を伝えず学生を勧誘する宗教団体などに対する注意喚起については、学生生活ガイダンスや掲示物等でも周知しているところですが、素性のよくわからない相手に対して、安易に携帯電話の番号などの個人情報情報を伝えることのないように注意してください。

また、学生のみなさんが少しでも不安や疑問を感じた場合は、教育推進部又は各学部・研究科の教務担当係や学生相談総合センターに相談してください。

無用なトラブルに巻き込まれないよう、無用な勧誘はきっぱりと断るようにしてください。

## マルチ商法等に注意

教育推進部学生支援課

学生を狙った悪徳商法が多発しています。マルチ商法等みなさんが陥りやすい消費者トラブルの事例は名古屋大学学生便覧に記載してあります。不要なものはその場ではっきり断ることが大切ですが、契約してしまった後で解約したいときはクーリングオフ制度がありますので、なるべく早く消費者相談窓口で相談してください。

消費生活情報あいち暮らし WEB

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsu/>

県消費生活総合センター

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター1階

TEL: 052-962-0999

# 災害対策

## ◆ 2つの大地震

名古屋大学地震防災訓練は10月28日(水)11:30から行います。この日は、過去に東海地域に大きな被害をもたらした2つの大地震の発生日にちなんだものです。1891年濃尾地震は最大級の内陸活断層の地震で、岐阜・愛知を中心に大災害となりました。また1707年宝永地震はマグニチュード8.6程度で、約100年ごとに繰り返す南海トラフの地震の中でも記録に残る最大級の地震とされ、49日後には富士山の宝永大噴火も発生するなど広域大災害になりました。

## ◆ 地震防災訓練の被害想定

今回の訓練では、近い将来に発生しうる地震として宝永地震程度の災害を想定します。名古屋市や愛知県でも、過去最大級としてこのような地震の被害想定を行っていて、名古屋大学では最大で震度6強程度になります。耐震性の高い建物でもガラスや天井などの被害がありますし、室内の大きい家具は、転倒防止対策がなければほとんどが倒れます。実験室では薬品や重い機器の危険や、火災の可能性もあります。さらに東海地域の全域が強い揺れと津波で大きな被害を受け、電気・ガス・水道や公共交通機関は1週間以上復旧せず、食料などの物資も不足します。自宅や実家の被害も心配です。訓練は大地震が起こった直後の行動が中心ですが、その後の1週間から1か月の状況も想定することが重要です。

## ◆ 全学一斉避難訓練

地震防災訓練では、まず緊急地震速報の放送を聞いて、強い揺れから身を守る行動(安全姿勢)を行います。教室や事務室では、机の下などで身を守る姿勢を取ります。実験室などでは薬品などの危険があるので、室内の安全な場所か室外へすぐに移動します。どのような場所においても、状況に応じて身を守るように考えて取り組んでください。次に、建物ごとにまとまって屋外の一次避難場所に避難し、全員の無事を確認します。このとき、各建物の教職員による自衛消防隊が安全に避難できるように指示・誘導しますので、落ち着いて行動してください。火災や事故などの非常事態でも同様です。実際の災害で避難後に自宅に帰るときは、大学からの情報なども確認して、帰宅途中の危険を避けるなどの判断が必要です。

## ◆ 安否確認に力を入れて

名古屋大学IDをもつ学生・教職員は2万5千人以上で、これだけ大勢の安否を確認するためには複数の方法が必要です。避難場所では、名簿による点呼や、避難者確認カードに名前などを書いて提出する方法などが予定されています。また昨年度から安否確認システムが新しくなり、あらかじめ一人一人の緊急連絡用メールアドレスを登録しておき、メールで連絡することとしています。今年5月26日に実施した前期防災訓練では、新しいシステムで安否確認を行い、無事終了しました。安否確認の入力者は全体に対して約65%で、今後、防災訓練までにさらに普及するよう検討しています。

詳しくは災害対策室および滅災連携研究センターのホームページなどをご覧ください。



## 伝言板(2)

### 学生住居・家庭教師の斡旋・紹介及びアルバイトの情報提供

教育推進部学生支援課

それぞれ、次により斡旋・情報提供をしています。

#### 1.住まいの斡旋

名古屋大学消費生活協同組合  
(Tel.788-7875)

#### 2.アルバイトの求人情報

- 1) 家庭教師の斡旋・紹介…名古屋大学消費生活協同組合  
(Tel.781-1111)
- 2) 一般アルバイト…学生アルバイト情報ネットワーク事務求人サービスで情報提供しています。  
<http://www.aines.net/nagoya-u/>

### 国民年金の学生納付特例制度について

教育推進部学生支援課

20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。しかし、学生の在学期間中は所得がありませんので、保険料納付が困難な場合があります。このことから、在学期間中の保険料が後払いできる学生納付特例制度があります。

学生納付特例制度は、申請をして承認を受ければ在学期間中の保険料が後払いできる制度で、この特例の承認を受けると、学生納付特例期間中の障害などといった不慮の事故には、満額の年金が支給されます。

<http://www.nenkin.go.jp>